

31日 水曜

創世記

17:15 また神はアブラハムに仰せられた。「あなたの妻サライは、その名をサライと呼んではならない。その名はサラとなるからだ。」

17:16 わたしは彼女を祝福し、彼女によって必ずあなたに男の子を与える。わたしは彼女を祝福する。彼女は国々の母となり、もろもろの民の王たちが彼女から出てくる。」

17:17 アブラハムはひれ伏して、笑った。そして心の中で言った。「百歳の者に子が生まれるだろうか。サラにしても、九十歳の女が子を産めるだろうか。」

17:18 そして、アブラハムは神に言った。「どうか、イシュマエルが御前で生きてますように。」

17:19 神は仰せられた。「いや、あなたの妻サラが、あなたに男の子を産むのだ。あなたはその子をイサクと名づけなさい。わたしは彼と、わたしの契約を立て、それを彼の後の子孫のために永遠の契約とする。」

17:20 イシュマエルについては、あなたの言うことを聞き入れた。必ず、わたしは彼を祝福し、子孫に富ませ、大いに増やす。彼は十二人の族長たちを生む。わたしは彼を大いなる国民とする。」

17:21 しかし、わたしがわたしの契約を立てるのは、サラが来年の今ごろあなたに産むイサクとの間にである。」

17:22 神はアブラハムと語り終えると、彼のもとから上って行かれた。

17:23 そこでアブラハムは、その子イシュマエル、彼の家で生まれたすべてのしもべ、また、金で買い取ったすべての者、すなわち、アブラハムの家のすべての男子を集め、神が



彼に告げられたとおり、その日のうちに、彼らの包皮の肉を切り捨てた。

17:24 アブラハムが包皮の肉を切り捨てられたときは、九十九歳であった。

17:25 その子イシュマエルは、包皮の肉に割礼を受けたとき、十三歳であった。

17:26 アブラハムとその子イシュマエルは、その日のうちに割礼を受けた。

17:27 彼の家の男たちはみな、家で生まれた奴隷も、異国人から金で買い取った者も、彼と一緒に割礼を受けた。

サライとは王女または女王と言う意味で、サラも意味は同じですが、より新しい言い方のようにです。サラはその子孫から国々の王が出るような、王女の源のような女性であることには違いないのですが、その導きの段階が新しくなったことを感じさせます。

イサクは原語ではイツハークと発音し、笑ったという動詞はワイツハークと発音します。同じ発音です。ですからイサクの意味には、「アブラハムが有り得ないと笑うようなことでも実現する神の力」ということと”有り得ないこととあきらめていた男の子が誕生した喜びの笑い”ということと両方の意味があるのでしょうか。

神が主体となって与えてくださった約束は必ず実現します。約束が与えられたら、無理と笑いたくなるようなことも、喜びの笑いに変えましょう。またイシュマエルへの祝福のように、神は偏らずに愛してくださる方です。偏見を捨てて受け入れていきましょう。

アブラハムはそれら神様のすばらしさを知り、信頼して割礼をする決心をしました。このようにその日のうちに、主の御心はすぐに実行しました。そうでないなら様々な邪魔が入り、実現できなくなってしまうものです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

